

CO遺族要求の貫徹へ



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話(53)3033番
電話(53)3034番
編集兼
行人
甲斐俊久
半年間1,200円 送料共

から甲斐俊久名儀へ変わりました。また、みいけ編集委も一部
本紙の発行責
任者が交替
かねて熊本通信局に対し、そ
の認可を申請中だったといふ。こ
のほど認可されましたので、さ
く本紙の発行責任者が前川哲也
更があり、今後は宮崎勝、宮原一
満、桃島敬三、武松輝男、木下善
た。

三川鉱前で座り込む

組合、患者・遺族守り団結

国際の場では、その九条の「平和条項」の抹殺をさえ公言しながら、憲法改悪をたくらむ政府・国民党の執拗な動きがあり、ここ三池炭鉱では、たゞ三池炭鉱の配転問題が不平のように、労働者に犠牲を求めての合理化攻撃がある。労働者の命はますます危うくなってくる。こんな状況のなか、組合はかねて会社に提出していたCIO遭族要求の貫徹を期して決起、団結を固め、三川鉱（大災害をひき起こした鉱）の正門前にテントを張り、座り込みにはじめた。

CO遺族要求貫徹決起集会、を
開き、かねて会社に提出している
CO患者と遺族に関する要求の實
なり、それを集めた組合員や家
族が包む形で緊張感をみなぎらせて
組織化され、十五日三川鉱正門前で
徹底を期し、巨結して闘うことと誓
つた。これが、直接東京の三井鉱山本社で会社と
交渉を行なうこととなつたが、また社の両党をはじめ大
半田・荒尾の両地評などの代表ら
もかけつけ、心から、今こそ
れぞれに苦しみながらも闘つてい
るCO患者や遺族をばげまし、ま
た連帯して闘うことを誓つた。
を感じ、ひどい協定を私たち遺

上京にも職場も闘う決意この夜から、要求を貫くため、なんの請求を貫徹するため、そのたる、過去十七年間耐え難い苦しみに耐えてきた。私たちはなんの請求を貫徹するため、

退職手当など獲得へ

近づく
秋闇
じん肺・せき損補償も

坑外勤続三十年で一千萬円の退職手当ほかの要素を掲げ、その実績をもとす炭労の秋季闘争がせまいにいたが、「とにかく今の退職手当ではどうにもならない。正直などとの十五百万元くらいは要求すべきだ」との切実な声があがっている。

一千万円の退職手当（坪外三十
年）に救護隊手当、じん肺・せ
き損補償などの増額要求を掲げて
闘う、炭労の秋季闘争がせまって
きた。なんといっても重要な問題
は、工に聞くと、家を建てれば「坪三
荒屋でも、住めそうな土地は坪三
たり五万円から七万円。それに大
工に聞くと、家を建てれば「坪三

みいけ新年文芸募集

労働者のみなぎる怒りを本紙に

投稿資格 三池労組の組合員とその家族。全国のC.O.S.による会員画(本紙の読者)。三池新労組の組合員・家族のみなさんもおねがい。
選 原則として、奇せられた

民主主義の危機が深まり、軍
隊の不気味な音が高まり、炭鉱
労働者との家族の苦しい生活
が依然として続くなが、新
しい年がきま。このとま本紙
は、『新年文藝雑誌』を行な
ります。どうか、みなさんのたぎ
る怒りを文藝にたくして寄せて
ください。労働者の怒りみなぎ
る『みづけ』の新年号にしま
る。 ジュ・隨筆やロマント
クの手数は千五百字以
内。各分野で作品は一人一
篇。題自由。
詩 制限なし。
短歌 一人五首以内。題目
由。
俳句・川柳・狂句 いや そのほか いわんな作品を。
や意見 いやれも手数は千字
以内。一人一篇。題自由。
内。白墨に限る。なるべ
くキャラクター型。一人三種あ
る。題自由。
マンガ 田黒に限る。大きさ
は用紙半分大以下。一人三篇
ある。題自由。

かわら版 一人五つ以内。題
自由。
組合運動に対する主張
しめきり 十二月十五日ま
で、組合本部（大牟田市不知火町二丁目）の編集部必着の

の薄謝を進呈。

上原田がついに田結してがんばり、労働歌の合唱も力あらめて、由紀、中西和子、木下タツヨ、あたりに響いた。　末松ミドリ。

「うら、労働歌の合唱も力あふれて
またに響いた。
上の写真は、座りこんだ仲間を
おびますデモ。(集会終了後)
本社交渉にの
○○患者家族代表 石原
サ子、清水栄子、桑原サダエ
塙本ミスエ、塙本栄子、池畠
夜子、只地カツエ、猿渡ハギ
主婦会代表 島フミエ、齊

直接東京の三井鉱山本社で、金
社幹部と集団交渉を行なう上原田
は次の人ひとである。
遺族代表 潤口生松、永江美
長が右に加わる。

活動強化をきめる

新聞担当会議の攻撃(2)

一千二百六十万円。それに側溝、水道・電気などの施設があり、欠かせぬ家具がある。一千五百萬円は、やうに突破する。

——退職後社宅にねばつても、でも要求するか」。

者はじつうて頭をかかえる。「昔は、勅統二十五年で祝余もねえて、それで十分家軒建る分はあつた。いゝそ、その頃

くるだろう。縁が切れたが最後、冷たいもん。仕方がない、借家で、も……と考えると、家賃が三DK あまり使いき四万五千円。それにアパートなら維持費や管理費など、電気代、水道代、ガス代がかかる。どうにもならない。

する者で、やつと狭くて安いところを探し当て、家を建てている人いるが、経費が初めの予算を上回るにこえてしまい、「退職したあまで、親類先に金かしてくればいいから」と嘆くのである。

職場の、定年間近かの高齢労働 わめて重要な秋季闘争だ。